Vanguard SYSTEMS INC.

1 機械の準備

1 梱包品の確認

□VG-35本体
□電源コード □VG-35 Manual CD-ROM □Data Manager Installer CD-ROM
□検査成績書 □クイックスタートガイド
□両面テープ

オプション品

□チャートレコーダ本体（ケーブル付）
□USBケーブル □コンパクトフラッシュ

2 本体の設置

本体は平らな場所に設置してください。
測定中、走行部が左側に大きく飛び出しますので左側を大きく空けてください

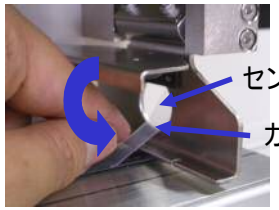
3 電源の投入

背面の電源スイッチを入れます

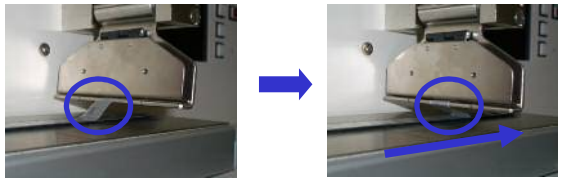
4 エンボステープのセット

走行部に両面テープを貼り、エンボステープを固定します。

5 クリップにカバーテープをセット

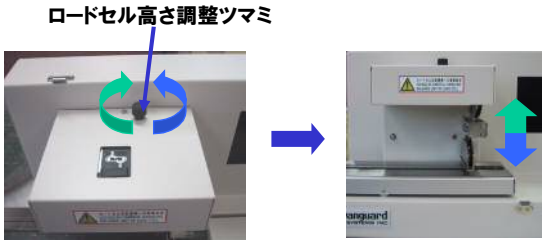


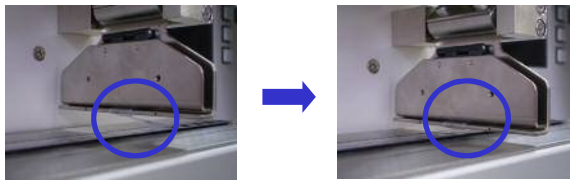
センター穴にカバーテープを通し、クリップで挟みます。



走行部を手動で手前に動かしカバーテープに角度をつけます。

6 ロードセルの高さ調整

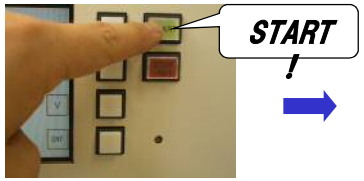




ロードセル高さ調整ツマミを回し、カバーテープ上面に近いところまで高さを調整します。

2 測定

1 測定を開始します。



測定準備が完了しましたらSTARTスイッチを押し測定を開始します。

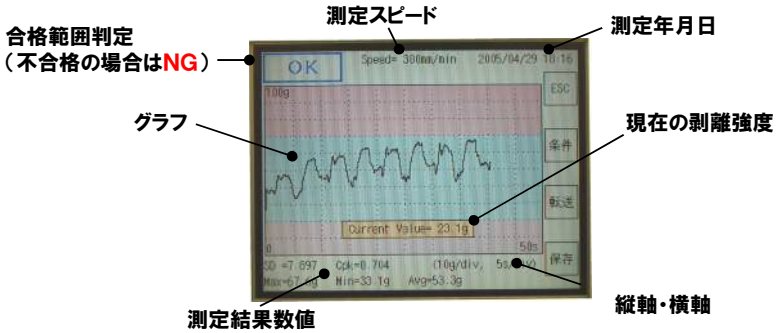
2 測定中

測定中、データがLCD画面に表示されます。

3 測定終了

STOP/REVスイッチボタンを押すか、測定終了位置まで走行部が移動すると測定は終了します。

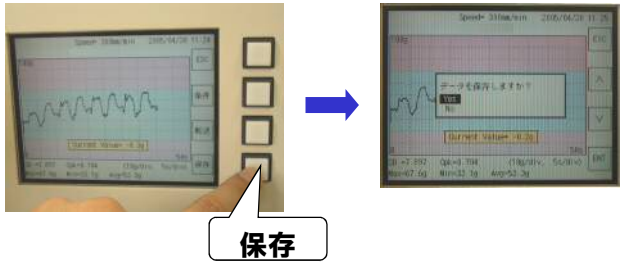
4 測定データ



Vanguard SYSTEMS INC.

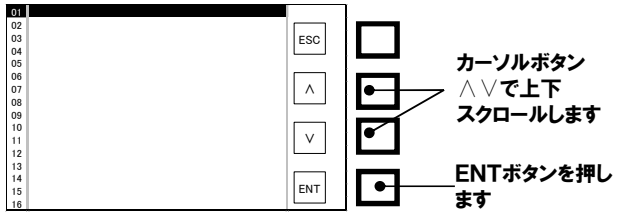
3 測定データ保存

1 データ保存手順

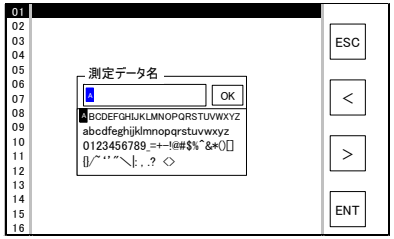


測定終了後、保存ボタンを押します。
確認メッセージが表示されますのでOKします。

2 データ保存場所選択／ファイル名入力



01～16からデータ保存場所を∧∨スクロールボタンで選択し、ENTで決定します。16品種まで保存が可能です。



＜ ＞ボタンで文字を選択し、ENTで決定します。最大16文字まで入力可能です。ファイル名が入力できたら＜ ＞ボタンでOKまで移動しENTボタンを押し、入力完了です。

4 Data Managerインストール

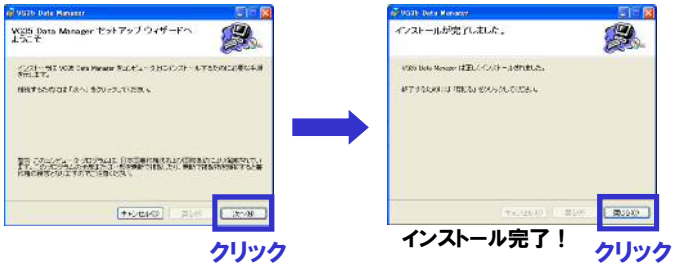
■OSがWindowsXP／2000の場合

1 パソコンの電源を入れ、VG35本体とUSBにて接続すると、ハードウェアウィザードが実行されます。

2 『VG35 Data Manager Installer CD-ROM』を挿入します。表示される手順通り進めてください。

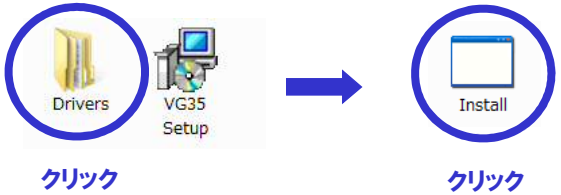
3 CD－ROM内の『VG-35Setup』を開きます。

4 セットアップウィザードが起動されます。



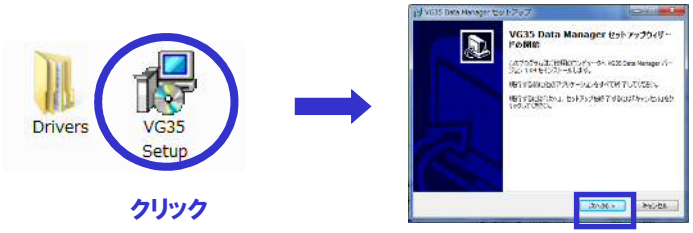
■OSがWindows7／8の場合

1 『VG35 Data Manager Installer CD-ROM』内の、『VG35_Setup_V104フォルダ』⇒『Drivers』⇒『Win7__8フォルダ』の順に開いて、『Install』を開いてください。
※この時点ではVG-35本体とPCは接続をしないでください。



2 セットアップウィザードが起動されます。

3 CD－ROM内の『VG-35Setup』を開きます。



4 セットアップウィザードが起動されます。

Vanguard SYSTEMS INC.

5 Data Manager起動

1 起動させる

ダブルクリック
デスクトップ上にショートカット作成されます。

Data Managerが起動します。

2 各種データの入力

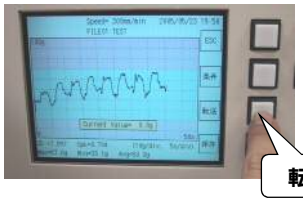
必要項目を入力します。(未入力でも可)

3 USBでのデータ取得

3-1 VG-35本体とパソコンをUSBケーブル(AB(Mini)タイプ)で接続します。

USB接続部にUSBケーブル
AB(Mini)タイプ(オプション)
を接続します

3-2 VG-35剥離強度画面の転送ボタンを押しUSBを選択します。



3-3 Data Managerの USB データ取得 をクリック。

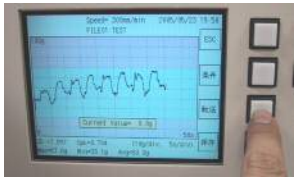
VG-35本体から『ピッ』という音が鳴ったら転送完了です。

4 コンパクトフラッシュからデータ取得

4-1 VG-35本体にコンパクトフラッシュを挿入します。

CF接続部にコンパクトフラッシュを挿入します。

4-2 VG35剥離強度画面の転送ボタンを押しCF cardを選択します。



CF cardを選択

4-3 ファイル名を入力し、コンパクトフラッシュに保存します。

最大8文字まで

本体から『ピッ』という音が鳴ったら保存完了です。

ファイル形式はCSVです。

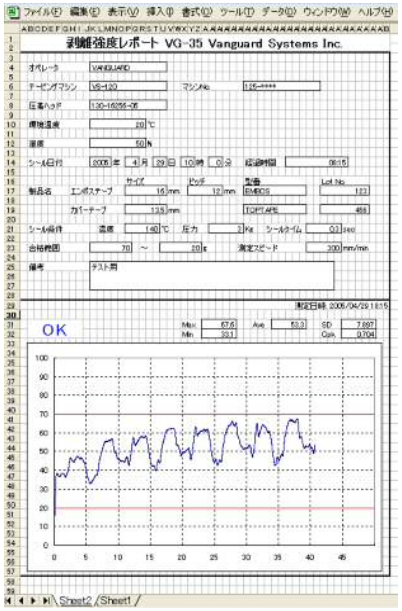
4-3 保存完了後、VG-35本体よりコンパクトフラッシュを取り出し、パソコン側に挿入してください。

4-4 Data Managerの データファイルを開く をクリック。

4-3 ファイルが保存されたコンパクトフラッシュを選択し、開くをクリックします。

クリック

5 エクセルを実行させる

5-1 USBからの転送、またはコンパクトフラッシュからデータを読み出し、 エクセル実行 をクリックします。

5-2 剥離強度レポートが開きます。印刷方法、保存方法は通常のエクセルと同様の操作です。